

神奈川県新産の蘚苔類・I 一道志溪谷

河濟英子

Eiko Kawasumi: New Records of Bryophytes in Kanagawa Prefecture, I. Discovery in Doshi Ravine

はじめに

県北部山地の蘚苔類に関しては、平岡ほか (2004) が生藤山のフロラを調査しているが、丹沢・小仏山地の境界に当る道志川に沿う地域での調査報告は一例もない。道志川上流から中流にかけては急峻な傾斜面や崖など、観察、採集が不可能な場所が多く、溪谷全体の蘚苔類相を明らかにする詳細な調査は極めて困難である。今回、溪谷 7 地点で調査を行い、県内において未記録の蘚類 7 種、苔類 1 種を発見したので報告する。

調査地

本溪谷の底部においては、不安定な砂礫や土、川岸の樹木や生葉に着生する種はほぼ皆無であり、専ら蘚苔類が見られるのは、屈曲する流れがぶつかる岩崖の垂直に近い面、あるいは川岸の岩、流れ中の岩塊上部である。岩上には主に直立型蘚類と葉状苔類とが優占し、匍匐型蘚類、茎葉状苔類、または水生の種はごく数種に限られる。今回報告する 8 種も全て岩を着生基物とする種である。

高尾山 (渡辺ほか, 1995; 平岡ほか, 1996) を含め小仏山地からは好石灰性の種として、ジムカデゴケ *Didymodon ferrugineus*, ミジンコシノブゴケ *Pelekium pygmaeum* (以上高尾山), タチヒラゴケ *Homaliadelphus targionianus* (生藤山) の 3 種が記録されているが、今回

はこれらを全く発見できなかった。下記 8 種の生育地は丹沢層群・愛川層群の岩質に由来すると考えられ、丹沢北部から東部にかけての露頭・岩塊上には、これらの層群が形成する環境を好む種群が未だ認識されていない可能性がある。

証拠標本は 2004 年 4 月、2005 年 9 月に道志川中流域、津久井町青根から三木までの間 7 ヶ所で調査を行った。表 1 に採集地点ごとのデータをまとめ、以下に対応するアルファベットで表記した。蘚類の学名は Iwatsuki(2004), 苔類の学名は古木・水谷 (2004) に準拠した。証拠標本は神奈川県立生命の星・地球博物館に登録保管されている。

県内に新たに確認された種

1. コアカハマキゴケ *Bryoerythrophyllum rubrum* var. *minus* K.Saito センボンゴケ科

KPM-NB1005535, D; KPM-NB1005536, C

山梨県・埼玉県・東京都にのみ記録される好石灰性の日本固有種。淵の岸のやや湿った岩崖に、2 ヶ所とも平常水位から 1 ~ 2m の間にクチヒゲゴケと混生していた。同じく石灰岩上に生育する同属のハナシアカハマキゴケ *B. gymnostomum* が厚木市の溪谷凝灰岩に見出されているが (磯野・平岡, 2000), 本種は茎が 1.5 ~ 2cm, 葉身は 2mm 前後とやや大型で、基部が強く鞘状に茎を抱く。

表 1

No.	採集地点	標高	採集日
A	相模湖町. 寸沢嵐. 道志. 弁天橋上流	150m	2005. 9. 16
B	津久井町. 青野原. 嵐. 津久井青年の家付近	180m	2004. 4. 1
C	津久井町. 青野原. 東野. 亀見橋 1.5km 上流	200m	2005. 9. 28
D	藤野町. 牧野. 伏馬田. 亀見橋付近	220m	2005. 9. 16
E	津久井町. 青根. 荒井. 夫婦園付近	250m	2005. 9. 12
F	津久井町. 青根. 荒井. 夫婦園 0.5km 上流	250m	2005. 9. 28
G	津久井町. 青根. 上野田. このまさわキャンプ場付近	330m	2005. 9. 12

2. ナメリオウムゴケ *Gymnostomum aurantiacum* (Mitt.) Paris センボンゴケ科
KPM-NB1005537, A; KPM-NB1005538, F
; KPM-NB1005539, D

福島県以南の本州から琉球まで分布する好石灰性の種。イトラッキョウゴケ *Anoetangium thomsonii* やエビゴケ *Bryoxiphium norvegicum* subsp. *japonicum* の生育する半陰の岩崖の隅, 3ヶ所ともに冠水する可能性のない乾燥ぎみの位置に見出せた。単独で透明感のある深緑色の密なマットを形成する。横浜市(河津, 2005; 佐々木, 2005)・湯河原町(未発表)に生育する同属のオオハナシゴケ *G. aeruginosum* と似るが, 葉身先端は鋭頭で平滑な細胞で終わる。

3. クチヒゲゴケ *Trichostomum brachydontium* Bruch in F.A.Muel. センボンゴケ科
KPM-NB1005540, F; KPM-NB1005541, C

関東(群馬県)以南の本州から九州まで分布する種。円頭から鈍頭のさじ形の葉形が特徴的。山北町にも, 県内に普通のイトラッキョウゴケ, ツツクチヒゲゴケ *Oxystegus tenuirostris* とパッチ状に崖を被う大きな群落が見られる(未発表)。本種は調査が進めば丹沢各所に見出される可能性がある。

4. チヂミクチヒゲゴケ *Trichostomum crispulum* Bruch in F.A.Muel. センボンゴケ科
KPM-NB1005543, B

関東(群馬県)以南の本州から九州まで分布する好石灰性の種。千葉県の君津市(古木ほか, 2004)でもヒロハツボミゴケなどと共に記録される。今回は流れに沿った岩の陰に小さな1群落のみを見出した。あたかも大型のコゴケ属のような印象をうけるが, 黒色の茎には際立って発達した中心束を持つ。

5. ヤマトジクチゴケ *Weissia deciduaefolia* K.Saito センボンゴケ科
KPM-NB1005544, G; KPM-NB1005545, F

関東(埼玉県)以南の本州・九州に分布する日本固有種。近隣では東京都高尾山(Saito, 1975)に記録がある。本溪谷では, 冠水することのない陽向の極めて乾燥した岩上からやや湿った半陰の崖まで多量に見られる。純群落を成すか, 乾燥した岩上ではホソバギボウシゴケ *Schistidium strictum* やチヂレゴケ属の数種と, 半陰の崖ではクチヒゲゴケ, ツツクチヒゲゴケと混生している。筆者は県西部低地, 丹沢山麓, 東部丘陵地まで, 標高10m から600m にかけて車道沿いの石垣や溪流沿いの岩などに本種が広範に分布するのを観察しているが, 未記録であった。普通種ネジクチゴケ *Barbula unguiculata* も中肋背面の線形細胞上にパピラが一行に並ぶことが本種と共通するため, 2種が混同され整理記録されてきたお

それがある。

6. ノコギリゴケ *Duthiella flaccida* (Cardot) Broth. in Engler & Prantl ムジナゴケ科
KPM-NB1005556, D

本州中部以西, 琉球までのシイ・カシ帯の水辺, やや石灰岩地に偏って分布する種。近くは静岡県伊豆(杉野, 1967)に記録がある。トサノゼニゴケ *Marchantia emarginata* subsp. *tosana*, アサイトゴケ *Pseudoleskeopsis zippelii*, カマサワゴケ *Philonotis falcata* と隣接する明るく湿潤な岩, 増水時に水位が50cmも上昇すれば群落全体が水没する位置から水際にかけて発見された。

7. エゾハイゴケ *Calliergonella lindbergii* (Mitt.) Hedenäs ヤナギゴケ科
KPM-NB1005557, C; KPM-NB1005558, D

北海道から九州までの山地の溪流辺に広く分布する種。アサイトゴケより上部のヤシヤゼンマイ・イワギボウシ・ホソバコンギクの出現する平常水位から1~2mの間に位置し, ヤマコスギゴケ *Pogonatum urnigerum*, フデゴケ *Campylopus umbellatus*, コアカハマキゴケ, クチヒゲゴケなどと共に広がる。安藤(1995)はハイゴケ科ハイゴケ属に分類するが, 半円形の偽毛葉と明瞭な翼部の点で他のハイゴケ属の種とは異なる。

8. ヒロハツボミゴケ *Jungermannia exsertifolia* Steph. ツボミゴケ科
KPM-NB1005560, E.

北海道から九州までの湿岩や水中, 酸性から塩基性の場所まで広い環境条件下に生育する種。やや湿った日陰の岩崖に1群落のみ発見した。切頭のハート型をなす葉形は, 県内に産する他のツボミゴケ属の種とは明らかに異なり, ルーペ下で判別できる。

謝 辞

本稿作成にあたり, センボンゴケ科5種の同定の確認をして頂いた木口博史氏に深謝致します。

文 献

- 安藤久次, 1995. 日本のハイゴケ属Ⅱ. 自然環境科学研究, 8: 68-99.
古木達郎・川名興・高宮宏・中村俊彦, 2004. 清和県民の森のコケ植物. 千葉中央博自然誌研究報告, 特別号(7): 13-31.
古木達郎・水谷正美, 2004. 日本産タイ類ツノゴケ類チェックリスト. 2004. 蘚苔類研究, 8(10): 296-316.
平岡照代・岩片紀美子・大橋毅・菅邦子・杉村康司・本郷順子, 1996. 高尾山(東京都)の蘚苔類Ⅱ. 苔類, ツノゴケ類. 自然環境科学研究, 9: 109-120.

- 平岡照代・磯野寿美子・平岡正三郎, 2004. 生藤山(神奈川県津久井郡藤野町)周辺の蘚苔類. 自然環境科学研究, **17**: 67-84.
- 磯野寿美子・平岡照代, 2000. 谷太郎川(神奈川県厚木市)の蘚苔類. 自然環境科学研究, **13**: 85-104.
- Iwatsuki, Z., 2004. New catalog of the mosses of Japan. Journ. Hattori Bot. Lab., (96): 1-182.
- 河濟英子, 2005. 横浜市円海山緑地の蘚苔類. 神奈川自然誌資料, (26): 21-29.
- Saito, K., 1975. A monograph of Japanese Pottiaceae (Musci). Journ. Hattori Bot. Lab., (39): 373-537.
- 佐々木シゲ子, 2005. 横浜市戸塚区とその周辺の蘚苔類. 神奈川自然誌資料, (26): 31-38.
- 杉野孝雄, 1967. コケ植物. 静岡県生物研究会編, 静岡県植物誌, pp.91-141. 静岡.
- 渡辺良象・岩片紀美子・大橋毅・菅邦子・杉村康司・平岡照代・本郷順子, 1995. 高尾山(東京都)の蘚苔類 I . 蘚類. 自然環境科学研究, **8**: 107-127.

(財団法人平岡環境科学研究所)